

第3回青年の家跡地等整備推進会議 次第

日時：平成29年9月25日（月）

午後1時30分から

場所：富士見市役所2階第1会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 意見交換事項

(1) 報告事項について 【資料1】

(2) 整備素案について 【資料2】

(3) 関連する事業について

(4) 次回会議の日程について

4 閉 会

■第2回会議での意見について

No.	主な意見	意見に対する考え方(案)
1	・「地域資源」について、整理・共有すべき。	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源をキーワードとして以下のとおり整理。 <ul style="list-style-type: none"> 河川：旧荒川等の河川、自然環境、釣り場 景観：富士山の良景、水辺・河川景観、田園風景 歴史：難波田城公園、旧荒川、お祭り 施設：びん沼自然公園、びん沼荘、ららぽーと富士見 特産品：お米、酒（縄文海進）、梨、野菜
2	<ul style="list-style-type: none"> 4つのイメージを融合してはどうか。 平日と休日でターゲットを変えても良いのではないか。 見る、遊ぶ、食べるの3点がポイントになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 4つのイメージをあわせた整備素案を作成。（資料2） 「見る、遊ぶ、食べる」の例として、以下を想定。 <ul style="list-style-type: none"> 【平日】：水辺での憩い、広場での遊び、カフェで食事など 【休日】：水辺での憩い、釣り堀、グランピング・キャンプ、バーベキューなど
3	<ul style="list-style-type: none"> 跡地はキャンプなど野外活動や軽トラ市などが出来る場としてはどうか。 建築施設をつくるのであれば、多目的利用できるものにしてはどうか。 南畑だけでなく市全体の良さが伝わる施設はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋内施設と屋外施設を以下のとおり想定。 <ul style="list-style-type: none"> 屋内：飲食機能を中心に、多目的に利用できる施設。 屋外：平日は遊び・憩いの場。休日はイベントが開催される場。（車での市内物産品の販売、キッチンカーなど）
4	・サイクリストが立ち寄れる場所があると良い。	・サイクリストの休憩拠点として、シャワー施設等の設置を想定。
5	・自然ゾーンは浚渫して水を入れてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 利活用方法として以下を想定。（整備期間や予算を踏まえ、整備範囲について今後検討） - カヌーで遊べる場、水辺を眺め憩える場（ベンチ）、多様な自然を感じ学習できる場所。
6	<ul style="list-style-type: none"> 自然学習の場として活かしたい。 販売だけでなく体験機能を設けてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋内と屋外で自然学習、体験の場を想定。 <ul style="list-style-type: none"> - 屋内：跡地ゾーンは、一帯で生息する生物等について講義等の実施。 - 屋外：親緑ゾーン南側及び自然ゾーンで、自然学習。
7	・子供が水で遊べる場所があってはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> 水で遊べる場所として、以下を想定。 <ul style="list-style-type: none"> - じゃぶじゃぶ池、釣り堀（水道水使用）
8	・上流のさいたま市～船渡橋～砂塚橋あたりまで散策路を通すのはどうか。	・水辺と自然を楽しみながら散策できるボードウォーク（木道）を設置するなどし、新たなウォーキングコースを想定。
9	・さいたま市側の桜並木を見る場所を整備してほしい。	・桜並木を望みながら散策できるボードウォーク（木道）、休憩できるテラスの設置を想定。
10	・資源を活かして、新しく魅力的なものをつくる必要がある。	・グランピングや「地産地消」を売りとする飲食施設、憩えるデッキ等の設置を想定。
11	・稼ぐ仕組みや就業できる場を創出してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> 稼ぐ仕組みとして以下を想定。 <ul style="list-style-type: none"> - 地産地消を売りとした飲食機能 - 車での市内物産品販売などの実施 - カヌーやサップ、バーベキューのレンタル - グランピング施設の整備
12	・R5201、R5206の釣り客の駐車対策（市道認定など）をしてほしい。	・跡地付近に駐車場、びん沼橋たもとにスポーツ広場兼駐車場の整備を想定。

■前回までの会議

1. 現状・課題を踏まえた整備のポイント

富士見市らしさ・地区の特長を活かす
「自然」「農業」「憩い」「水辺」

交流人口増加の機会を活かす
「地域の活性化」「子育てしやすい街」

市内の回遊性を高める
「訪れやすさ」「魅力向上」

その他のキーワード
「高齢化」「スポーツ」

2. 本整備の基本方針

「ここに行きたい ここだから行きたい」と思われる、青年の家跡地と河川空間が一体となった整備を行うことで、本地域の魅力向上・活性化を目指す」

3. 本整備で考えられる機能・施設（ターゲット別に4つのイメージを提示）

イメージ	1	2	3	4
コンセプト (メインターゲット)	「平日ひるなかの憩いガーデン」 (子育て世代、孫育て世代)	「健康志向の癒しガーデン」 (幅広い世代の女性)	「週末木アビのリバー・グランピング」 (ファミリー・若い世代のグループ)	「いつでもみんなのアスレジャーフィールド」 (あらゆる世代・一人又はグループの運動者)
キーワード	「憩い」「地域の活性化」「子育てしやすい街」 ▼ ・子育て支援・地域交流施設・孫育て	「農業」「高齢化」「地域の活性化」 ▼ ・周辺農家との連携による地域活性化・健康増進	「自然」「魅力向上」「水辺」「地域の活性化」 ▼ ・豊かな自然の中でのアウトドア・自然学習	「スポーツ」「高齢化」「自然」 ▼ ・豊かな自然の中での運動、余暇活動 ・スポーツマンのサポート・健康増進
主な機能・施設	■子育て世代向けのカフェ、販売施設 例)カフェ・図書施設、アグリショップ、展望施設 ■遊具(アスレチック)	■農を活用した飲食、体験、販売施設 例)カフェ、体験工房、アグリショップ	■自然に触れあえる学習、体験施設 ■アウトドア施設(グランピング・BBQ施設等) ■水上レクリエーション施設(カヌーなど)	■サイクリストやランナー向けの休憩施設 ■健康遊具、ウォーキング・ランニングコース ■川辺の遊歩道やデッキ

4. 前回までの会議における意見

「4つ全てのイメージを融合させてはどうか」「平日と休日でターゲットが変わってもいいのではないか」「跡地は多目的に利用できないか」「稼ぐ仕組みはできないか」「自然ゾーンを浚渫して水を入れられないか」など

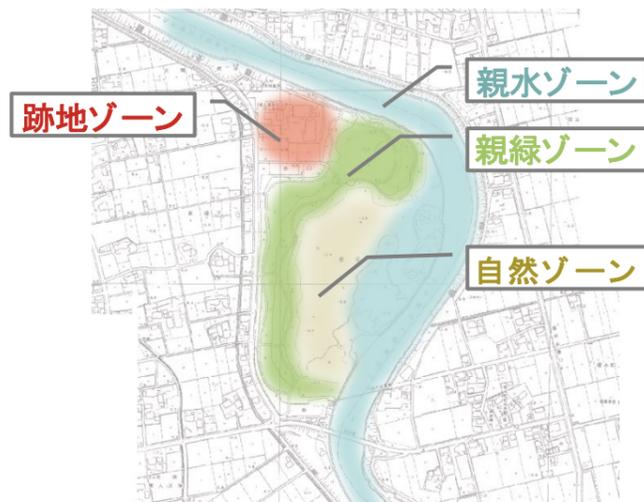
■今後具体的に検討していくための考え方(案)

5. 考え方(案)

この地区の景観や環境を活かして、多様な人々が多様な体験ができる場所

多様な人々：平日→子育て世代・子ども・孫育て世代 など、 休日→市内外のファミリー・若い世代のグループ・ランナーなど
多様な体験：水辺や森林での憩い、景観・眺望、子どもたちの遊び、アウトドア体験、飲食、自然学習、運動・スポーツ、各種イベントの実施 など

6. ゾーニングの設定と求められる機能・施設



跡地ゾーン
飲食を楽しみ、憩いと賑わいを創出する空間
■メイン施設(管理機能、飲食・厨房機能、展望機能等) ■イベント広場 ■サイクリストやランナー向けの休憩施設
親緑ゾーン
豊かな自然の中で屋外学習やアウトドアを満喫できる空間
■アウトドア施設(グランピング・じゃぶじゃぶ池等) ■遊具(大型遊具、アスレチック) ■ウォーキング・ランニング、ヨガ

親水ゾーン
川沿い散策や水上レクを楽しめる親水空間
■川辺の遊歩道やデッキ(カフェ、BBQ等) ■水上レクリエーション用施設(釣り場、カヌー等) ■スポーツ広場
自然ゾーン
水辺の自然環境や景観を保全する空間
■水辺の自然環境・景観創出 ■散策できる木道